

Let's DJMAX TECHNIKA2!!

文責：PTOMO

・はじめに

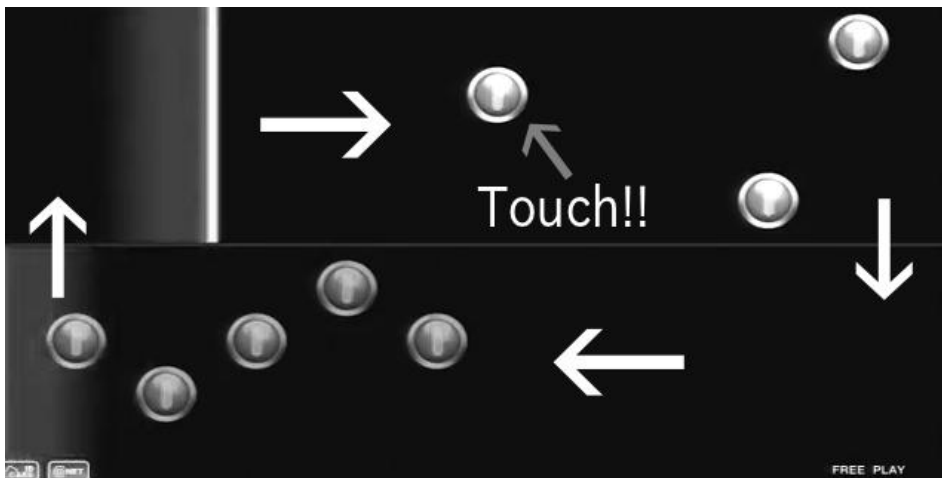
みなさん始めまして。入学試験を突破された方、本当におめでとうございます。この会誌を手に入れたということは、ゲームに興味があることでしょう。そこでこの記事では「DJMAX TECHNIKA」というゲームを紹介します。

「DJMAX TECHNIKA」(以下、テクニカ)は、韓国の PENTAVISION 社によって製作されている音楽ゲーム「DJMAX」シリーズの内、アーケード向けに開発されているゲームです。海外では「3」が稼働していますが、日本では「2」が最新バージョンです。置いてあるゲームセンターも少ないので、見る機会も少ないかもしれません。この記事では、テクニカのシステムや魅力を紹介しつつ、始めてみようという人の手助けができるように紹介しようと思います。

・ゲームシステム

まず「音楽ゲーム」(以下、音ゲー)の説明から。音ゲーとは、楽曲に合わせて演奏する! ボタンを叩く! 踊る! 爽快なゲームです。ゲーセンに行けば、大抵どこかに音ゲーがあると思います。

その中でテクニカは、曲に合わせてタッチパネルに現れるノートを押す、なぞる、連打することで演奏していくゲームです。他の音ゲーと大きく違うのは、**判定ラインがスクロールしている点**です。プレイヤーが触るタッチパネルは下図のように上下二段に分かれており、上段では右方向に、下段では左方向に判定ラインが移動していき、ぐるぐると回り続けています。この動いている判定ラインとノートが重なるタイミングでタッチしていくことで演奏できます。判定ラインが移動しているので、常に手を動かし曲に合わせて演奏していかないとはいけません。



ノートは5種類あり、「ノート」「ホールドロングノート」「ドラッグロングノート」「チェーンノート」「リピートノート」です。「ノート」はピンク色で、タイミングに合わせてタッチします。「ホールドロングノート」は青色の長いノートで、終点に行くまで押し続けます。「ドラッグロングノート」は黄色の長いノートで、終点までなぞり続けて取ります。「チェーンノート」は黄色の、関節によって繋がっているノートで、なぞるか関節部をタッチする事で取ります。「リピートノート」は紫色のノートで、始点のノートとその先に現れるマーカーのタイミングに合わせて、始点のノートをタッチします。これらが組み合わさる事で、演奏感のある面白い譜面が構成されています。特に、リピートノートが多い譜面は脳トレと化し、初見では理解できずに死ぬこともよくあります。凄く面白いです。

1曲ごとに、曲の終了時に画面上部のゲージが残っていればクリアです。曲の開始時はゲージが100%あり、上手くノートを演奏できれば増加、失敗をすると減少していきます。曲の途中でゲージが0%になるとゲームオーバーです。

・モード紹介

このゲームには、「DUO MIXING」「STAR MIXING」「POP MIXING」「CLUB MIXING」「CREW RACE」の5つのモードがあります。クレジット投入時は、STARが選択されています。

- ・DUO MIXING：2人で遊べるモードです。やる機会はほとんどないです。
- ・STAR MIXING：いわゆるビギナーモードです。3ラインでノーツが大きい、ゲージが減りにくい、1曲目に死んでも次に行けるなどと親切設計なので、慣れるまではこのモードを推奨します。特に、他の音ゲー経験があって自信のある方もSTARをやって慣れましょう。
- ・POP MIXING：自由に選曲をして遊ぶ普通のモードです。3曲設定ですがゲージが無くなると即ゲームオーバーというシビアな面もあります。
- ・CLUB MIXING：予め用意されている曲を演奏していくモードです。一部のロング曲などこのモードでないと遊べない曲もあります。ゲージの回復量が少なめで、やや上級者向けなモードです。
- ・CREW RACE：クルー¹に所属している全国のプレイヤーが作成したオリジナルコースを遊べるモードです。楽曲解禁に用いるMax Pointを稼ぐのいうってつけのモードです。

初めてやるときはSTARを選び、慣れてきたらPOPで色んな曲に触れるといいでしょう。自信が付いて来たらCLUBに挑戦したり、CREW RACEで全国のプレイヤーと勝負するのもいいでしょう。

・魅力

音ゲーの魅力は「とにかく演奏できる」「好きな曲を大音量でプレイできる」「クリア時の達成感」などが上げられますが、勿論テクニカにも言えることです。

テクニカではノーツに対応された音の音量が少し大きくなるので、綺麗に演奏できるととても楽し

¹ 1つごとに10人まで所属できるグループのようなもの。管理は公式サイトで行えます。

いです。ホールドに合わせて伸びる音やリピートに合わせて刻まれるドラムなど、ノートと対応している音が分かりやすいのも非常にいいです。更に、テクニカの筐体にはヘッドホン端子があり²、うまい店内でもプレイに集中できます。音がしっかり聞こえると音ゲーは楽しいですからね。

また、難しい譜面をクリアした時の達成感も大きいです。テクニカは後ろで見ていると簡単そうでも、実際にやると難しいゲームです。このぐらいできると思っても案外できません。しかし、判定ラインの移動やタッチに慣れ、綺麗に押せるようになると、難しい曲もクリアできます。これが凄く面白いです。リピートノートが多い難解な譜面などをクリアできると、最高の気分になれますね w。

・長く遊ぶには

まず、ゲームセンターでデータ登録用のカードを買きましょう。大体 300 円か 400 円です。続いて、公式サイト³で「プラチナクルー登録」と「DJMAX テクニカ 2ID カード登録」をしましょう。こうすることで、自分のプレイデータが保存され、インターネット上で閲覧できるようになります。また、隠し曲や CLUB の新しいコース、DJ アイコンなど様々な解禁要素を購入することができます。購入にはゲームプレイによる報酬「Max Point」を用います。

更に、クルーに所属する事をお勧めします。クルーに所属すると CREW RACE の報酬が多くなり、解禁が少し楽になります。他にも、プレイヤー同士が切磋琢磨したりアドバイスを貰えますからね。TGA の中では OB のクロウさん(OB 紹介を参照)が作ったクルー⁴があるので、是非入りましょう!!

・終わりに

ここまで「DJMAX TECHNIKA」の紹介をしてきました私ですが、実はプレイ歴 3 ヶ月ほどです。高校の頃から「beatmania IIDX」をやっており、大学に入ってから BEMANI シリーズの音ゲーをたくさんやってきました。しかし、2012 年の終わり頃にテクニカを本格的にやり始めて、猛烈にハマりました。このゲームはとても面白いです!! これはホントです。最初は、「White Blue」や「La Campanella: Nu Rave⁵」がカッコいいとか、「I Want You」のスイちゃんが可愛いとかそんなノリで始めましたが、気が付けば全曲クリアしよう、スコアを上げようという感じでガンガンプレイしていました。「DJMAX」シリーズは PSP や PS Vita 用の家庭用ソフトもあるので、そちらをやってみるのもよいでしょう。難しいものが多いですけどね。

みなさんも TGA に入ったら、テクニカでもいいですし、他のゲームでもいいので、熱くなれるゲームに出会って楽しい大学生活を送りましょう。最後まで読んで頂きありがとうございました。

² 台に乗りタッチパネルの裏側に左手を伸ばすと、その辺に端子があります。

³ <http://www.djmaxcrew.jp/>

⁴ しかし、クルー名がアレなのが悩みの種。

⁵ 『『パガニーニによる大練習曲』第 3 番嬰ト短調』のアレンジ。Thor's Hammer? 何のことかな(